

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回食育推進会議	
開催日時	令和6年2月13日（火） 午後2時00分から 午後3時40分まで	
開催場所	福津市役所 本館2階 大会議室	
委員名	(1) 出席委員 梅木 陽子、宗岡 浩子、山下 和也、 花田 砂恵子、児島 由美、高山 結花、 田志 元子、漆谷 慎一、中島 美香、 林 チョ (2) 欠席委員 なし	
所管課職員職氏名	こども家庭部 部長 中村 雅美 子育て世代包括支援課 課長 羽田野 美奈 子育て世代包括支援課 保健指導係長 新堀 瞳 子育て世代包括支援課 保健指導係 河野 里奈 子育て世代包括支援課 保健指導係 丸山 康子	
会 議	議 題 (内容)	(1) 福津市食育推進の取り組みについて (2) 食のカレンダーホームページ掲載について (3) 広報ふくつへの食育記事掲載について
	公開・非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1名
	資料の名称	・第2次福津市食育推進計画 進捗状況 ・令和5年度食のイベントカレンダー ・広報カレンダー裏の食育記事掲載について他
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	記録内容の確認方法	
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会のことば

2. 部長あいさつ

こども家庭部中村部長より挨拶

3. 会長あいさつ

福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科 准教授 梅木会長より挨拶

4. 議事

(梅木会長)

それでは議事に入ります。

議事(1) 福津市食育推進の取り組みについて事務局よりご説明お願いいたします。

(事務局 丸山)

資料1をご覧ください。第2次福津市食育推進計画に沿って、各課の取組みをまとめています。この中より令和5年度の現状と課題及び令和6年度の取組み案について抜粋してご報告いたします。

【1 ページ】目標「食を通して地域を知る」

農林水産課では、JA青年部と協働で、上西郷小学校でスイカの苗植え及び収穫体験、勝浦小学校で水稻の苗植え及び収穫体験をしました。次年度も実施予定です。

地域コミュニティ課では、郷づくり推進協議会の事業計画に基づき、野菜や米作り体験、収穫作物を使った料理教室を行いました。

高齢者や若い家族とともに食事をする場を設け、孤食を減らす地域交流の場となりました。

子育て世代包括支援課では、小学生の夏休み自由選択課題で「福津のめぐみで料理名人」を実施し、地元産の食材を使った料理に、1,101名の応募があり、昨年より183名応募が増えました。

本日の追加資料にあります広報1月号では、「福津のめぐみで料理名人」の特集を掲載しました。

また、イオンモール福津で作品展示、FUKUTSU・コミュニティ・フェスタで名人作品展示と表彰を行い、この事業を積極的に発信しました。イオンモール福津では、市内事業者により福津市産の食材を使って4作品がお弁当化されました。子ども達に実際販売してもらい、30個×4種類のお弁当販売に行列ができ、20分で完売しました。追加資料のお弁当のポスターはイオンが作成しました。

次年度も、「福津のめぐみで料理名人」の作品募集を実施予定です。

本日追加資料の「福津市子育て応援券の送付について」の資料をご覧ください。

こちらは、資料①の中に記載していませんでしたが、こども課では、7月に子育て応援食育推進事業として、福津市の直売所で使用できる子育て応援券1万円分を配布しました。還元率が96.6%と高く、直売所で地元の食材を購入してもらえました。子育て世代包括支援課もタイアップして、食育チャレンジシートや、福津のめぐみで料理名人、野菜摂取の啓発のチラシを配布しました。

(梅木会長)

基本目標の1、元気な地域をつくるというところの項目についての報告でしたが、皆さんから何かご意見ございませんか。

(漆谷委員)

農林水産課の報告のJ A青年部さんとの協働はすごく良いことだと思いますが、勝浦の子どもたちは享受できますが、他の地域の子供も達には出来ないのので、少し平等性にかけるかと思しますので、何か今後ご検討いただけたらありがたいです。

(梅木会長)

福津市内の小学校2校での取組について農林水産課の報告がありましたが、J A宗像でも体験型の学習等の事例がございましたら教えてください。

(高山委員)

J A青年部で幅広く活動はしていますので、もし何か依頼がありましたら、すぐ対応できると思います。

また、J Aが行っているキッズの体験学習は、小学校単位ではないですが、今年度は、宗像、福津、岡垣から14名参加して体験活動をしております。

(梅木会長)

ありがとうございます。

学校教育課の報告で校内への掲示物の作成、生産者との交流会や給食時間に生産者についての放送実施と記載がありますが、児島委員の上西郷小学校でも、また、市内全域で同様に展開されているということでしょうか。

(児島委員)

まず、J Aとの協働については、学校からJ Aにやりたい活動を相談してスタートする事業がほとんどかと思っております。どうしても大規模校では、教室の中の活動ではない栽培活動、生産活動というのは、難しいのではないかと思います。上西郷小学校は、校内にスイカを育てる畑もあります。勝浦小学校も同じような条件かと思っております。そういう難しい部分もあるため、学校によって呼びかけ方、呼びかけの範囲は少し違うとは思っています。

「福津のめぐみで料理名人」で、展示や表彰をしていただいたことは、とても子どもにとって励みになったのではないかと思います。

(梅木会長)

J Aとのコラボレーションで子ども達への体験学習のプログラムがどのように行われているかというところも教えていただきました。学校の地域の環境特性に応じて、食育の到達目標は同じとしても、アプローチの仕方が様々であるということ、またJ Aのお力をお借りしてできる部分があるということがわかりました。

資料1の学校教育課の掲示物作成とありますが、具体的にどういった種類の掲示をされていたか情報がございましたら教えていただけませんか。

(児島委員)

学校での掲示物でよくあるのは、給食のワゴンの上にチラシが乗ってきます。学校栄養職員が作成したもので、例えば、「今日は福津でとれた、こんな食材を使ったカレーです。」とか、「夏の旬の味を味わってくださいね。」とか、一言今日の給食に関するトピックスみたいなものが書いてあり、チラシとしてワゴンに乗ってきます。それを教室の黒板に貼り、各教室で当番さんが読み上げて周知するようなことを、おそらくどの学校でも行っているかと思います。放送で行っている学校もあるかと思います。

(梅木会長)

そうすると子ども達は目の前にある給食を見ながら、地域についての情報、栄養の情報を見て、食べて理解していくという取組がされているということですね。

また、「福津のめぐみで料理名人」の実施状況について報告があり、子ども達のいきいきとした写真も見せていただいております。弁当化もされたとのことですが、当初は発表会か何かを予定していたところで、店の方からお声かけがあったということですか。

(事務局 丸山)

イオンに当初は作品の展示だけをお願いしていましたが、イオンの担当の方が、これをぜひお弁当化したいということで実施されました。

(梅木会長)

取組が広がりを持っていて、掲示物で写真だけでも十分華やかで会場が賑わうものですが、そこに実際のお弁当になるというところが子どもにとって、とても励みになる場所です。お弁当販売をするに当たって、子ども達が何か関わりを持つことはあったのでしょうか。

(事務局 丸山)

子ども達には、お弁当にラッピングする準備から販売まで体験してもらい、保護者からも「子どもが貴重な体験を出来て嬉しかった。」とお言葉をいただきました。最後の1個が売れたときには、会場から拍手をもらって感動的でした。

(梅木会長)

応募したことがきっかけで、販売に至るまで子ども達も経験出来たということと、お客様との交流も体験出来たということで、食育の食べることだけではない労働に感謝するところも体験出来たのですね。また来年もこのようにされる予定ですか。

(事務局 丸山)

イオンモール福津及び福津いいざいと、来年に向けての話をしております。「ぜひ、これはやりたい」と言っていたいただき、作品展示及びお弁当化を行う方向で話が進んでおります。

(梅木会長)

また、挑戦してみようと思う子ども達が増えると良いですね。より広がりがある、1年生の時にはここまでだけれども、もっとやってみたいとか、受賞できるようなものがある継続的な取組があると、子ども達の披露の場ができるので、ぜひ、単年度ではなく、引き続き続けていただけたらと思っております。

このお弁当化の取組のところは、「元気な地域をつくる」と「食を通して地域を知る」項目での取組になっておりますけれども、お弁当化されたメニューは、地元の食材を使った物が選ばれて、地元の食材を中心にお弁当にされたということでしょうか。

(事務局丸山)

そうです。福津市内の飲食店に声をかけていただき、どの店舗にも、福津の食材をいくつか使ってお弁当を作っていました。

(梅木会長)

子ども達は、福津の食材を調べる学習から始まるかと予想しますけれども、店に実際に足を運んでみたりとか、今どきの子ども達ですので、ホームページを見たり、学校の給食で地域のことを提示しているということでしたので、そういうものからメニューの発想を得たりしているかと思いますが、「福津のめぐみで料理名人」のプロジェクトでは、福津の食材に関する情報提供を今後行っていく予定はございますか。

(事務局 丸山)

市ホームページの「福津のめぐみで料理名人」の掲載箇所から、あんずの里市やJAのホームページにリンク出来る様にしていますので、そちらに旬の食材の情報が掲載されているので調べていただけるかと思えます。

(梅木会長)

そうすると、調べて、どこで買ったらいいのかなとか、どんなものがあるのかなというのを、自分の力で検索し、訪ねてということが出来る仕組みが整っているということですので、ますます取組が発展すると良いと思いました。

あんずの里市のホームページにリンクしているということをお聞きしたのですが、子ども達との関わりで、今年度、あんずの里市ではどのような取組がございましたか。

(花田委員)

あんずの里市では、津屋崎小学校と給食交流会をしました。津屋崎小学校の3年生に野菜の仕組みや野菜のつくり方、野菜の効能について1時間授業をしました。子ども達と給食も一緒に食べました。

また、津屋崎中学校では、野菜を前に並べて野菜の紹介をして、給食も一緒に食べました。

あんずの里市は食材を提供しておりますので、1月か2月に毎年1回あんずの里と津屋崎小学校、津屋崎中学校の交流をしていて、もう20年ぐらい続いています。

それとは別になりますが、あんずの里市では、1月7日に七草粥の振る舞いをしています。春の七草にはどんなのがあるかを前に出して皆さんに紹介しています。

(梅木会長)

地域の小中学校との繋がりがあるということを教えていただきました。

報告の中で、子育て応援券の話が出ておりましたが、その利用ができる場所にあんずの里市もありました。お子さんがいらっしゃるご家庭の応援券の利用はいかがでしたか。

(花田委員)

あんずの里市と、ふれあい広場、お魚センターで子育て応援券を使用して色々食材を購入され、「こんなものがあるんやねえ」と言って、子ども連れの若い世代の方達がたくさん来られました。

(梅木会長)

配布の時期が7月の末でしたが、利用に関しては夏の時期が多かったですか。

(花田委員)

お盆前と最後の11月が1番多かったです。ふれあい広場は、お米を買われる方が多かったです。あんずの里市には、こういう食材があることを子どもさん達や皆さんが知れて、また、直売所のことを知らなかった新しい方もたくさんいらっしゃいましたので有難かったです。

(梅木会長)

こちらの子育て応援券は1枚が500円ですので、こまごまとお買物を何回も楽しめるようになっていっているので、使いやすい券だと思っております。夏の時期に配られ始めたということで、「福津のめぐみで料理名人」に取り組んでみたい、また生産者の方の直売所等でお買物したいという子ども達の応援にもなり、そういった取組を主体的に行う子どもの投資にもなるだろうと思いました。「福津のめぐみで料理名人」のPRが売り場でしていただけると、やってみたいというきっかけになるのかと思います。

宗岡委員は食育推進の取組でいつも子ども達のところに、料理教室等で関わっていらっしゃるかと思えますけれども、今年度、どのような取組状況でしたか。

(宗岡委員)

12月19日に上西郷小学校へ味噌玉づくりで行きました。0.8%の塩分の味噌玉を1人3個ずつ作り、「冬休みに家でお父さん、お母さんに作ってあげてね」と言うことで、1個だけはそこで試飲して、「おいしい。こんな味もあるんだね。」と子ども達は言っていました。

また、イオンモール福津で11月3、4日にイベントがあり、市長とともに、一般市民対象に味噌玉を100個配って、塩分0.8%の減塩ということを紹介し、すごく反響がありました。

また、食進会の料理教室で作った減塩のおせち料理が西日本新聞に掲載され、福岡市内の方から、「レシピをください。」と問い合わせが何件かありました。

イオン1階の適塩コーナーに福津市の食進会のレシピを置いたコーナーがあります。そちらへ今後レシピが置けたら良いと思うので、そちらをご案内しました。

広報ふくつに掲載された「福津のめぐみで料理名人」は、やはり子ども達の顔が載っているのがすごくいいと思います。食材だけじゃなく、顔が見えるというのが、家族全体温かくなると思いました。

(梅木会長)

学校では味噌作り、大人向けには減塩の視点で、イオンモール福津でも展開されたというお話でした。

子ども達も、学校で作った味噌玉がイオンでもあったというのを知れると、また家族にもお話が繋がるので、子ども達だけではなくて大人にもアプローチされたということは、繋がりのある食育かと思っております。

また地域で活動されている食進会の皆様達と交流ができ、売場の方でもご活躍されているというところで、子ども達も安心して地域で過ごしていける繋がりが強まり良いと思いました。

今回子どものところを中心に話題としてあげましたが、「食を通して地域を知る」というところでは、食進会の力はとても大きいと思いますので、ぜひ今後もお活躍をお願いしたいと思います。

皆さまから、他にご意見はございませんか。

(山下委員)

先ほど食育の活動ということで、農林水産課の青年部の例が出されました。ニュアンスは違うかもしれませんが、管内、福津市には福津市認定農業者協議会がございまして、そこは福津市内の中核的な農家さんが組織する協議会にな

っております。事務局は市の農林水産課がされていると思いますが、そこが年1回、内殿だったと思いますが、みかんの収穫体験を行っており、そこで市民との交流や、福津市内の農業実態や生産物の状況等を説明していると思いますので付け加えさせていただきます。

(梅木会長)

ありがとうございました。

商工会の田志委員、前は、女性部での取組を教えてくださいましたが、今年度取組で特に「食を通して地域を知る」に関わることはございますか。

(田志委員)

商工会は事業者商工業者の支援ですので、直接食育というのはほとんどない状態です。昨年、商工会の女性部の活動で、玉葱ドレッシング作りを事業の一環でご紹介しましたが、地域の食材で何かをとということで、あんずの里市で玉葱を購入し、玉葱ドレッシング作りをいたしました。それは単年度で、今は年間通して色々な事業をしています。

商工会は、経営の支援ですので、人口増とともに日々創業相談も多いです。創業者の中には、いろんな業種がありますので、その中でもカフェ、飲食業には、地元の食材を使ってメニューの一つに入れていただきたい等のお願いはしています。

また、青年部の一つの事業として「福津の仕事人」がありますが、それは食育というよりは、中学校や光陵高校に行き、青年部の自分達の仕事を子ども達に体験してもらうという事業になります。

(梅木会長)

創業支援や、食だけではない関わりが多い中に、玉葱ドレッシング作りもしていただいたということで、来年も何かきっかけがございましたら、ぜひ力をお借りしたいと思っております。

最近、他の地域で空き家や古いアパートをリノベーションして、キッチンを貸し出す取組も見せていただく機会がありましたが、創業のところで、そのような事業はございますか。

(田志委員)

リノベーションも空き家対策の一つではありますけど、民家で民泊というのが出てきております。ほとんど何も手のかからないような食事も出さず、ただ泊まるだけの民泊という業種になります。

(梅木会長)

新しいところに何か食が関係することがあればと思いました。

それでは、中島委員から、この1ページの部分のところで何かご意見ございませんか。

(中島委員)

勝浦地区で味噌作りを毎年させていただいています。3年生で「すがたをかえる大豆」という授業をしますので、3年生で大豆作りから、大豆の収穫選別まで自分達でして、自分達で作った大豆で味噌を作ることを行っています。

勝浦小学校のように児童数が少ない小規模校ならではの出来ることと、大規模校ならではの出来ることがあると思います。勝浦は田園が多くあり、地域の人たちも農家の方が多く、そういう意味では農業や食育には力が入れやすいというのは感じております。

(梅木会長)

子ども達も楽しみに待っていることと思います。

林委員からもご意見いただけますでしょうか。

(林委員)

一つ目、前回も提案しましたが、農林水産課がJA青年部と提携して、古賀市のスイートコーンの事例のようなことが出来ないかの提案です。

古賀市では、スイートコーンの生産者が高齢化で、収穫の時期は人材が足りないため市民のボランティアが集まりました。市民はなかなかそういう農業体験をしたことがないので、ボランティアで参加して、ご褒美はスイートコーンをもらって帰る。そして即売会もしたら、30分で2,000本が売れて、すごく反響がよかったですと聞きました。

福津の場合は、いちごやスイカのような果物狩りが楽しいと思うので、ホームページや広報に載せてもらえたら、市民の方が自然に触れ合う農業体験が出来るのではないかと思います。

福津は人口も増えてファミリー層が増えていますので、子どもと一緒に収穫体験が出来ればすごく賑うかと思えます。

二つ目、知人が上西郷小学校の学校給食に完全無農薬の野菜を納入しているという話を聞きました。

小規模の学校だから納品できるが、これが大規模校になると毎日納品出来ないで、まずは上西郷小学校からしていると聞きました。

福津市内では、完全無農薬でしている農家もいます。学校では、なるべく減農薬の野菜、ないしは無農薬野菜で給食を提供してほしいと思っています。

三つ目、去年、ボランティア団体で、20人ぐらい集まって味噌作りを教してもらいました。添加物が入ってない味噌がこんなにおいしいのかということを経験したので、ふくとびあ調理室で味噌づくり教室をぜひ企画していただきたいと思えます。

(梅木会長)

色々なご提案をいただきました。地域の困り事を解決する手だてが食育になるというところで、スイートコーンの事例や地域の声をうまく繋いでいくような取組をするコーディネーター的な役割をうまく機能させていかないとはいけません。

それぞれが頑張っているいろんなことをしてくださっているところが次は繋が
り、困り事を解決しながら食育も解決していく、充実させていく視点も取り入
れていただくとすごく良いと思います。今後そういった視点でもぜひ、この会
議の場だと、担当課のところまで、お話が届きにくいのかもかもしれないので、ぜ
ひ事務局からも何かの機会に伝えていただいで食育の方との連携を進めていた
だけたらと思います。

2点目、給食の無農薬・減農薬の食材の使用というところで、学校規模、食
数の規模によって、納入のシステムを構築しないとなかなか実現は難しいとこ
ろではないかと思うところです。一方、無農薬、減農薬のものの良さというと
ころで、地域のものを使うことによってそれが達成できる可能性もあります。
まずは、実際なされている学校の事例もあるということでしたので、どうやっ
たら実現できるのかということも、出来ないということだけでなく取り組ん
でいける方法を考えていただくと良いかと思ひます。

しかし、先ほど学校現場のお話も聞きましたけど、地域によっても人数の違
いもあるというところをお聞きしておりますので、難しさもあるかと思ひま
す。一律をめざすのではなく、ぜひ、まずはそういった取組が途絶えないよう
に続けていっていただくところから広げていくことをお願いしたいと思ひてお
ります。

ぜひ、学校教育課の方にも、今日のご意見をつないでいただけたらと思ひま
す。

かなり充実したお話をいろいろお聞きいたしました。

では、資料1の2ページ以降の報告をお願いいたします。

(事務局 丸山)

【2ページ】目標「地元でとれたものをおいしく食べる」

各課事業や、学校給食、保育所給食で地元産の食材を使用しました。しか
し、先程の話にもあったように、大規模校もあり、食材が揃わないこともある
ことが課題です。

【3ページ】目標「若い世代が健康や食への意識を持つ」

いきいき健康課では、親子料理教室を行い、アンケートに「料理するのが楽
しかった」「家でも料理したい」等の回答が多く寄せられました。

また、飲み物の糖分と健康の関係についての体験教室を通して生活習慣病予
防の啓発を行うことができました。

子育て支援センターなかよしでは、実際に調理をする「楽しん DE クッキン
グ」を実施し、2月には食育推進会議委員である中島さんから食育講演をして
もらいました。

【4ページ】目標「規則正しい生活リズムを整える」

各課それぞれ、生活リズムを整えて3食規則正しく食べる事を伝えていま
す。

【5ページ】目標「健康長寿につながる健康的な食習慣を身につける」

いきいき健康課では、5月に「美味ヘル！7種の彩り丼」の発売イベント、8月に「うまCa!DAY」イベントをイオン福津店・福岡女子大学と共催で実施しました。野菜を多く摂取することの健康へのメリットや、骨粗鬆症を予防するためにカルシウムを含む食材を積極的に摂取するように呼びかけました。

また、イオン福津店、あんずの里、レガネット福津(9月～10月)、プロマート福津店(9月～12月)に「適塩コーナー」を設置。食進会提供の「適塩レシピ」を定期的に掲示しています。

【6ページ】目標「食への感謝の気持ちを育てる」
各課、食べる事の大切さ・感謝の気持ちを伝えています。

【7ページ】目標「食文化を次世代につなげる」
学校や大和保育所では、給食に郷土料理や季節の行事食を取り入れました。

いきいき健康課では、食進会の料理教室でおせち料理を適塩仕様にして紹介し、大変好評でした。

【8ページ】目標「食に対する正しい知識を身につける」
郷育推進課では、郷育カレッジで食品表示の読み取り方に関する講座を開催しました。

学校では、食品衛生について、保護者にお便りで啓発しました。

【9ページ】目標「地域の自然環境をみんなで守る」
郷育推進課では、郷育カレッジで食品ロスを減らすフードバンクの活動を紹介する講座を開催しました。反響が大きかったので次年度も実施予定です。

【10ページ】目標「行政・学校・ボランティア・関係団体の連携を強める」
各課、様々な関係団体と協力しています。
例えば、子育て世代包括支援課「福津のめぐみで料理名人」において、福岡女子大学梅木先生にアドバイスいただき、JA宗像や直売所、学校へのホームページアクセス、イオンモール福津での作品展示、福津いいざいでのお弁当化などご協力いただいています。

【11ページ】目標「これも食育の啓発」
広報で食育の記事掲載をしています。また、各課広報やLINEなどでも、食育に関するイベント情報を発信しています。

(梅木会長)

2ページ以降の資料についても幅広くいろんなものにわたっておりますけれども、ご意見ございませんでしょうか。

(林委員)

NPO法人で子ども食堂をしている団体が物価高騰で活動費が大変だと聞いておりますが、助成制度のようなものは何かありませんか。

(事務局 中村部長)

2月9日(金曜日)に市ホームページでも情報を掲載したばかりですが、子ども食堂等の活動をされている団体や個人に対して、食材等の物価高騰の影響による活動を支援する目的として「こどもの居場所づくり支援事業」を実施します。

令和5年4月から令和6年1月末までに活動された回数に応じて、産直施設で使える応援券のような商品券を交付します。今年度初めて実施します。

申請が2月いっぱいです。詳細を見ていただいて要件に合致するようでしたら、手続きをしていただければと思います。

ホームページは、「こどもの居場所づくり支援事業」で検索してください。

(梅木会長)

先ほどご報告いただいた内容で、他にご意見ございませんか。

(児島委員)

5ページに「よく噛んで食べることができる高齢者及び子どもの割合」とありますが、本校の栄養士が、今とても危機感を持っているのが、奥歯でしっかり噛めない子どもが多過ぎるということです。

奥歯で噛めないから、前歯でカチカチッと噛むので、とても時間がかかるし、硬いものが噛めない子どもが多いと報告を受けています。

園児の時から、噛むことの大切さをご理解いただければと思いますが、福津市以外の園からも来ているので、入学前に噛める子どもにするために、好き嫌いよりもよりですけれども、それ以前に物が噛めないと困るわけですから、市の乳幼児健診等でも話題に出していただけたら良いと思っています。

(梅木会長)

貴重なご意見を教えていただいてありがとうございました。やはり、小学校に入る前からの噛む食事は大切ですね。やわらかい形状のものばかりだと、なかなか噛む経験がなく、入学して給食時間もカミカミ給食でかたいものが出されても、時間がかかって食べ残しにつながりますし、ぜひ、幼児期からということで、保育所等で伝えていただけたら良いですね。

先週金曜日に、宗像・遠賀保健福祉環境事務所で、特定給食施設(保育所、幼稚園、認定こども園等)を対象に研修会がありましたけれども、そのような場でも伝えていただいて、いろんな現場の方へ知っていただきたいと思います。

よく噛んでというところの取組事項や口腔関係の講座という方向では、高齢者サービス課では講座の報告が出ておりますが、幼児期でも噛むことも目標にも上がっておりますので、ぜひ、お願いしたいと思います。

そのほか、皆様、普段の食育活動で何かご意見ございますか。

(中島委員)

3ページに「自分で料理をすることができる子どもの割合」の目標が75%とあります。去年から小学生の夏休み自由選択課題として「福津のめぐみで料理名人」がありますが、やる気で全部やろうという子もいるし、今年はここから

やってみようという感じで、一つずつやっていく子もいて、凄く良い取組だと思っています。

しかし、夏休みの宿題は結構量が多いので、やる子とやらない子で差が出てきているのではないかと思います。

福津市の小・中学校では「弁当の日」の取組みが年に1回か2回実施されていて、子ども達は年に1回は作る機会があるかと思います。

「弁当の日」のもともとのスタンスは、香川県の小学校の竹下校長先生が、子どもが自分ひとりで作る力を養いたいということでスタートされました。

熱心な校長先生の学校は、ご指導もしっかりあって、子ども達もちゃんと作っているかと思います。勝浦小学校では、去年「弁当の日」の映画上映会をして、先生達にもすごくご理解いただいて、先日の「弁当の日」には先生もみんな弁当を作って来られました。

弁当の日をしたことがなかった教頭先生が「こんなに弁当の日って楽しかったのですね。大事な意味がよく分かりました」と言われて、ご自身が体感されたことによって、その良さをすごく感じていただけたのが印象的でした。

しかし、いろいろ聞くと、お惣菜を詰めるだけや、お母さんが作ったものを詰めただけの弁当を持ってくる子もいるとのこと。そうではなくて、子どもが自分でつくって、食のことを感謝し、おいしいと分かってもらえるのが本来の目的なのかと思います。

小・中学校では年1回は必ず「弁当の日」がありますから、もっとワンランク上でいくと、例えば「福津のめぐみで料理名人」のようなものが出来ますし、ぜひ、タイアップしていただけたらと思います。

(宗岡委員)

昨年度の秋に、光陵高校の家庭科クラブから「お弁当を作りたい」ということで2回ほど行きました。お弁当に詰めるものは、油ものは少なく、赤緑黄みtainな簡単な色の組み合わせから考えていくことから伝えてきました。

生徒さんの中には、「小学校・中学校でつくっておけばよかった」と言われた方もいましたが、「食に目覚めるのは早いも遅いも関係ないよ。親がちゃんとつくってくださって今まで大きくなったからね、今から、いろんなことを目指してやっていこう」と伝えました。

また、津屋崎小学校、聖愛幼稚園では、年長さんに1月に味噌をつくり3月の卒園記念に持って帰ってもらっています。

75名いましたので大変でしたが、「卒園記念の時は、パックに入れてリボンをかけてもらうのよ。そして今度、朝ご飯を食べてぴかぴかの1年生になってね」と声掛けして、やはり食を通して、このような活動を一生懸命頑張っていきたいと思っています。

(梅木会長)

味噌づくりだけでなく、朝ご飯を食べるといふところまでの意識づけをしていただいたということがわかりました。

そのほか、ご意見ございますか。

(漆谷委員)

子育て応援券についてですが、3.4%の方が使っていないということは、指定直売所の3箇所へ行くのが大変ではなかったのかと思いました。もう少し近くで使えるところがないかということと、配達料金をとっても、電話注文やネット注文で使えて届けてあげることができれば良いかと思いました。

(梅木会長)

今、3箇所で始めていらっしゃいますが、そこ以外に選定できる可能性は市としてありそうですか。

(事務局 中村部長)

今の事業の内容から指定産直所で行っているのですが、その3箇所ということですから、96.6%の還元率というところで、まずは、産直所を知るきっかけになればというところでもありました。

(梅木会長)

わかりました。それが利用出来ていない方が3.4%おられるというところでのご意見だったかと思いますが、利用しなかったか理由等をお聞きになることはございますか。

(事務局 中村部長)

どこかにしまって失くされたという方もいらっしゃるかと思いますので、そこまで検証するのは少し難しいです。また、この事業が来年度あるかどうかまだ確定していません。

(林委員)

支給対象者は何人ぐらいだったのでしょうか。

(事務局 中村部長)

0歳の赤ちゃんから中学3年生までの子どものいる世帯で、約6,600世帯です。

(梅木会長)

ありがとうございます。では、次の話題に進めさせていただきたいと思います。

(梅木会長)

議事(2)食のカレンダーホームページ掲載について、事務局よりご説明お願いいたします。

(事務局丸山)

資料2-1です。こちらは、参加できる食のイベントをまとめています。直近では、2月8日に育児講座「食育」がありました。こちらは、中島委員に講話していただきました。

資料2-2をご覧ください。地域や学校の食のイベントの紹介をまとめています。直近では、3月に上西郷小学校でおにぎり給食の日があるお知らせをしています。

資料2-3をご覧ください。市ホームページには食育の取り組みを写真入りで掲載もしています。

(梅木会長)

食のイベントカレンダーの掲載については、この会議の中で委員の皆様のお声に基づいて作成されたものになります。食のイベントカレンダーについて皆様から何かご質問やご意見はございませんでしょうか。

(漆谷委員)

7月の親子料理教室のタイトルですが、実の親に育てられていない子ども達もいるかと思うので、嫌な思いをしないかと思いました。

(梅木会長)

表現について、アイデアありますでしょうか。

(漆谷委員)

おじいちゃんやおばあちゃんに育てられている子どもや、施設で育てられている子どももいると思うので、「大人と子ども」はどうでしょうか。

(梅木会長)

今後の記載の参考にしていただきたいと思います。他にお気づきの点はございませんでしょうか。

(梅木会長)

議事(3) 広報ふくつの食育記事掲載について、事務局よりご説明をお願いします。

(事務局丸山)

広報ふくつカレンダー裏への食育記事掲載については、令和5年度は、6月「共食について」、8月「野菜について」、2月「ルーマニアの食文化」について掲載しました。

広報の食育記事掲載は、カレンダー裏だけではなく、それぞれの課が担当しているページがあります。資料3-1に食育に関する記事掲載の内容をまとめています。

(梅木会長)

では、委員の皆様から、議題3について何かご意見ございますか。ないようですので、議事を終了し、事務局へお返しいたします。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

5.閉会のことば

6.事務連絡

(事務局 新堀)

来年度の本会議の開催は、6月と2月の2回予定しておりますのでよろしく
お願いいたします。本日はありがとうございました。